

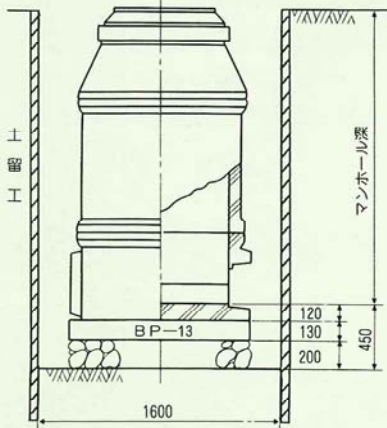
設計・施工・維持のトータルで完成された プレキャストマンホール

エバホールの施工概要

●据付順序(標準タイプ)

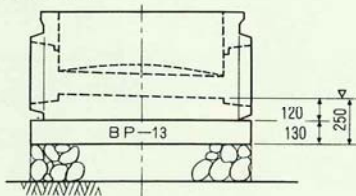
1. 掘削

管取付壁の下流側管底から製品の底までの寸法に注意して下さい。(次図)
掘削深さは
マンホール深+120+底板厚+設計基礎碎石厚



2. 基礎碎石

所定の厚さ、高さで水平に充分転圧して仕上げして下さい。



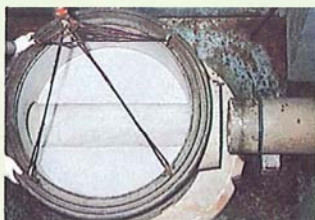
3. 底板据付

基礎面となじみよく据付けます。この時下げ振り等によりマンホール芯と底板芯を合わせます。



4. 管取付壁据付

下流管をマンホール芯より480mm手前の位置で切断しておきます。
切管にゴムリングを150mm手前に装着します。管取付壁を吊り上げ、この状態で下流管がソケット内でつきあたる位置に差し込み、高さ、水平調整を行います。管取付壁据付後、上流側の管底高を確認し、上流管を接続します。



5. 直壁、斜壁据付

据付にあたり凹部にエバシールを貼り付けます。付属のガイドピンを埋め込みナットにセットし、足掛け金具の位置を確かめ、直壁をガイドピン上に接続します。
斜壁も同じ要領で据付けます。



6. 調整リング据付

斜壁に付属のキャップボルトをセットし、末端にモルタルを敷き、調整リングの3点の穴にキャップボルトを通して据付けます。



7. 蓋据付

調整リングの上にモルタルを盛り、蓋の受け枠を据え、ナットでしめます。2つのナットの下は高さ調整用として、上のナットは締め付け用です。



8. 埋戻し

以上の工程終了の後埋戻します。

9. 内目地仕上げ

各部材間の目地、緊結金具の穴、管口をモルタルで仕上げて下さい。



●副管付きマンホールの場合

1. 底板据付

標準マンホールの場合と同じです。

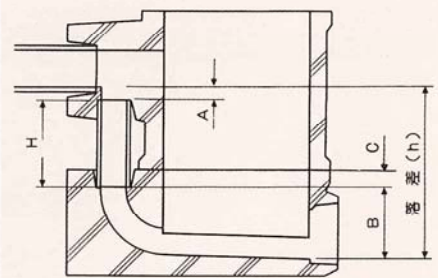
2. 管取付壁据付

標準の管取付壁据付と同じ要領で設置します。流路の方向、下流側インポート部の高さ・水平を確認後、下流側本管をソケット部に差し込みゴムリングを差し込んで完了です。

3. 副管用直壁(ARSL)-副管用管取付壁(IBE)の場合

下図に示す方法により副管の長さ(H)を算出し、切断します。

副管の長さの算出



$$H = (h + C) - (A + B)$$

Aは落差により変動するので、実測して下さい。

B=480

C=ソケット差し込み深さ

切断した管の両側にゴムリングを装着し、管取付壁に差し込み、管取付壁側のゴムリングを詰め込みます。

次に、管取付壁にガイドピンのみをセットし、直壁を仮置きしてガイドピン、副管の収まりを確認して下さい。仮置き確認の後、再度直壁を吊り上げ、管取付壁にエバシールを貼り付け、直壁を据付け、ボルトにより締め付け、直壁側のゴムリングを締め込みます。

落差の少ない場合(600mm~1000mm程度)は、ゴムリングの締め込みが困難となりますのでシリコン系のコーキング材等により、シーリングして下さい。

尚、副管につきましては、VU-150の場合落差1500mm、VU-200の場合落差2000mm以上になりますと、管のたわみが2mm以上となりますので、防護工を考慮して下さい。